

国保依田窪病院 倫理審査申請書

令和1年11月 7日提出

国保依田窪病院院長
倫理委員会委員長 様

申 請 者
氏 名 両角 美穂
所 属 看護部 3階病棟
職 名 看護師 (師長)



※ 受付番号 No.

1. 課題名	感染症を有した患者の受入れに対する介護施設の現状と連携
2. カテゴリー	<input type="checkbox"/> 疫学的な調査のための臨床研究 <input type="checkbox"/> 診断及び治療法の効果を調べる臨床試験 <input type="checkbox"/> 学会等提出論文 <input type="checkbox"/> 委託研究または製造販売後調査 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (研究発表)
3. 実施 責任者名	両角 美穂
4. 実施 分担者名	
5. 医療の概要	実施期間 令和 1年 11月 1日 ~ 令和 2年 2月 28日 まで 概 要 感染症を有した患者を受け入れる介護施設の現状を知り連携を図る
6. 医療の対象並びに実施場所	対象例数 依田窪地域の介護施設 10施設 医療対象 介護施設の職員 実施場所 介護施設
7. 実施計画書	あり (資料参照)
8. 医療における倫理的、社会的配慮について	(1) 医療の対象となる者の人権擁護 (2) 医療の対象となる者の理解と同意 (3) 医療の対象となる者に生ずる危険性と不利益に対する配慮 (4) その他
9. 審査資料	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画書 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 同意説明文書及び同意書

- 注意事項
- 1 1～5は必ず記入し、ファイルをメールまたはメディアに保存し提出すること。
 - 2 審査対象となる別添資料があれば、全て添付すること。(別添資料添付漏れのある場合審査できません。)
 - 3 ※印は記入しないこと

看護研究計画書

作成日 令和 1 年 11 月 5

研究課題名(タイトル)				
主研究者	所属	3階病棟	氏名	両角美穂
共同研究者	所属		氏名	

1. 研究概要

--

2. 研究の目的

依田窪地域の介護福祉事業所の、感染に対する現状を把握し、受入れに対する不安を軽減し、感染症を持った患者の受入れが可能となる環境設定ができる。事業所で必要かつ実施可能な感染対策の方法を指導し、適切な対応と受入れが可能となる。地域包括ケア病棟からの退院指導に感染対策の指導が盛り込まれ、地域との連携が可能となる。

3. 研究の背景と根拠・意義

地域包括ケアシステムの推進により、在宅への退院支援の必要性が高まっている中、感染症を持ちながら退院する患者が増えている。退院後、地域の介護福祉事業所が様々なサービスを提供していく中で、感染症に対する不安から受入れやサービスの提供に抵抗を感じたり、必要以上の対策や隔離等を行っている可能性がある。福祉事業所のスタッフの意識や感染対策の現状を把握し、感染症を持った患者を受け入れる体制が構築でき、病院と地域の連携を図る。

4. 研究対象

依田窪地域の介護福祉事業所 10施設に勤務する看護・介護職

5. 観察・調査・検査項目と方法

1. 依田窪地域の介護福祉事業所10施設に勤務するスタッフへアンケート実施し、現状の意識や感染対策の現状を知る
2. 当院の感染看護認定看護師より感染症についての勉強会を開催。各施設での感染対策や実際に困っている事例についてを検討
3. 病院からの退院時には、感染対策の在宅用のパンフレットを使用し退院指導を行っていく
4. 勉強会開催後に再度アンケート調査を実施し、各施設のスタッフの意識の変化を調査する

6. 対象患者数、研究期間

令和元年11月～

7. 評価項目

アンケート調査により、勉強会前後のスタッフの意識の変化。各施設での感染対策の方法やマニュアルの整備状況

8. 統計学的考察(質的研究)、データ分析の方法(量的研究)

質的研究

9. データ収集と管理方法

研究者が作成した自記式質問紙調査。勉強会の前後にて比較検討。

10. 倫理的事項

アンケートの回答の有無や内容による不利益を被ることは無い、個人情報とプライバシーを保護する

11. 研究費用

特定の研究費は受けていない

12. 研究実施計画書の審査・承認・改訂

依田窪病院の倫理委員会にて審査を受け実施する

13. 研究の終了と早期中止

14. 研究に関する資料等の利用と保存

個人情報に留意しアンケート結果保存

15. 研究成果の帰属と結果公表

感染症を有した患者様の退院支援について アンケートのお願い

私は、依田窪病院 地域包括ケア病棟師長の両角美穂です。今回、感染症を有したまま退院される患者様の生活を支えて頂く看護・介護職の皆様に現状をお伺いし、病院と地域が連携して退院後の生活をより良く支える事を目指した研究を行うため、アンケートのご協力をお願いします。

実際の現場での困った事例や、避けたい症例等あるかと思えます。率直なご意見を頂き、受け入れて頂く際に困ることがなく対応頂けるような、情報提供や連携が取れればと考えております。お忙しいところ申し訳ありませんが、ご協力をお願いします。

アンケートは無記名にて回答頂き、個人を特定されることはありません。質問紙への回答により同意を得られたものとし、回答の有無により不利益を生じることはありません。また、回収した内容に関しては研究目的以外に使用することはありません。回収は、各施設毎に同封した封筒にて返信をお願いします。

ご多忙の中恐縮ですが、ご協力をお願い致します。

回答者ご自身についてお伺いします

性別： 男性 ・ 女性

年齢： 10代 20代 30代 40代 50代 60代以上

施設名：

職位：

資格：

現在の職業に就いての経験年数：

現在の事業所での勤務年数：

下記の質問項目に対して、当てはまるもの一つ○をつけて下さい。また、()内には感染症名等を具体的にご記入下さい

1. 感染症の有無は、受入れを決める際の判断材料になりますか？

はい ・ 感染症による () ・ いいえ

